

伊豆シャボテン動物公園

“動かない鳥”ハシビロコウ
世界最高齢で大往生の「ビル」50年目の新事実
～「ビルじいさん」は、実はメスだった！～

2020年8月28日

株式会社伊豆シャボテン公園

ハシビロコウ
『ビル』?(1970年頃)～2020年
推定年齢50歳以上1971年 スーダンのハルツーム動物園より来日
1981年 (一財)進化生物学研究所より
伊豆シャボテン公園(当時)へ来園来園後は広いバードパラダイス内と自室とを
自由に行き来できる環境で生活。
ハシビロコウの寿命は正確には解明されて
いないが、近縁のコウノトリ科の鳥は約35年
といわれており、「ビル」が記録的に長寿だった
ことが分かる。人間の年齢に換算すると100歳
以上と推定。長年「ビルじいさん」の愛称で親しまれて
きた「ビル」ですが、
このたび、雌であったことが判明しました。

2020年8月6日(木)に老衰で死亡したハシビロコウの「ビル」に関しまして、性別がメスであったことが判明しました。人間とともに歩んでおよそ50年、その死後に判明した新事実です。

「ビル」は推定年齢50歳以上(人間の年齢に換算すると100歳以上と考えられる)、世界でも類をみない長寿なハシビロコウで、長きにわたり「長老」「ビルじいさん」として親しまれてきました。死後に行われた解剖の結果、性別はメスであると確定いたしました。

1981年4月、メス「シュー」と番(つがい)のオスとして来園した「ビル」。「シュー」には先立たれてしまいましたが、それから長い間「バードパラダイス」内でのんびりと暮らしてきました。ハシビロコウは、オスの方がメスよりも平均して大きいという以外に外見上雌雄の差がありません。PCR法などの遺伝子検査で性別の判定を得るためには、自由に暮らす「ビル」を捕獲・保定して採血や組織の採取を行わなければなりません。当園では、既に年齢を重ねていた「ビル」に負担をかけないこと、長年にわたり培われてきた人間との信頼関係を崩さないことなどを鑑み、捕獲を実施しませんでした。そしてこのたび、約50年目にしてあらためて「ビル」の性別が確定した次第です。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部
TEL：0557-51-1115 (代) URL：<https://shaboten.co.jp/>
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4

伊豆シャボテン動物公園
グループに友達登録して
お得な情報をゲット！
LINE@
お友達募集中！

